

業界 ニュースの 行間を読む

世界の 製油所能力から見る 日本の近未来

石油・エネルギー業界アナリスト
垣見裕司
Kakimi Yuji



垣見裕司(かきみ・ゆうじ)。東京都千代田区麹町生まれ。成蹊大学工学部経営工学科卒業後、垣見油化株式会社に入社。石油ガス部長、取締役石油部長、常務取締役を経て、94年、代表取締役専務に就任。01~02年、09年エネ庁研究会委員等も務める。96年、業界に先駆けて開設したホームページは、アクセス数累計300万件を超える人気。毎月、鋭い切り口と明快な論旨で業界の今を伝える。特にガソリン税問題では、1日3000件のヒット数を誇った。高校時代は硬式野球でインターハイ出場。大学時代には中高の監督を務める。趣味はゴルフ、囲碁(七段)

今年も業界数字マニアの私には大好きな別冊号の発行の季節がやってきました。

今月はアラカルト的な数字解説と、後半は6月号で皆様に驚かせてしまった消費地精製主義について、東南アジアや中東諸国の精製能力と自国使用量とのギャップデータから私なりの推測をご紹介します。

SS数の減少傾向は?

まずは本年3月末のSS数です。その数3万7743で対前年比の減少数は1034。これは、4年前の対前年減少数が1967だったことを考えると、減少速度が鎮静化したように感

じますがそれは1年後を見ないと何とも言えないでしょう。

そうです。あの40年超の地下タンク対策工事の期限が来年の2月に迫っているからです。

実は、大変危惧する情報を入力しました。それは2011年度の3次補正予算でその対策工事について4786SSの補助金申請がなされたのですが、8月8日で、52%しか工事をしていないばかりでなく本申請さえ提出されていないのです。

やはり多くの業者が昨今の余りにも酷い業界環境に見切りをつけ、名誉ある撤退を考えているのでしょうか。

その一方、もし今から対策工事をやるうとしても、工事業者

てくれるのが石連週報で、最も確実と思われるのが1カ月以降に出るエネ庁速報です。

ところが昨今その2つの数字に微妙なずれを感じており、時期にもよりますが、石連週報からの販売推計がエネ庁速報より少ない気がするのです。

その理由は

実は石連週報は、その1週間の生産と在庫だけを発表、業界紙等がそれから逆算して「販売」と称しているの、後者のエネ庁と違い、輸出や輸入の項目がありません。

また石連発表の在庫データは、石連に加盟していない輸入商社等のタンク在庫は把握していないので、あくまでも石連加盟会社の一つの参考数値と割り切った方がいいでしょう。

良くも悪くも輸入数量が大きな影響を及ぼしてしまう昨今、日本全体の需要動向は、エネ庁速報によるのが良いと思います。その一方、あれだけ多くの種類がある自動車販売数は、翌月初旬に会社別車種別にも正確に

把握され、一般の我々にも見える状態になっていることは、高く評価したいと思います。

石油業界も、ガソリン灯軽油AC重油だけでもいいので、せめて元売別の販売数字が分かるようにして欲しいと思います。

衝撃の6割減は本当か

昨今皆様からよく頂戴する質問の一つは、「2030年のガソリン6割減をどう思う」です。私は本誌にて「10年で半減もあり得る」と常々申し上げてきました。この真意は、「必ず半減する」とまでは言わないが、半減してもやってける経営体質にしてほしい」という意味です。

しかし今回、民間総研ではなく、エネ庁の委員会がこの数字を発表した意義は、誠に大きく、その英断を高く評価します。

今回の報告では、減少要因を、①高齢化や経済成長停滞、②燃費改善や次世代自動車と③交通流対策の三要因を挙げています。この交通流対策とは、公共交通の利用促進、モーダルシフト(輸送や交通手段の転換)、

は限られています。聞くところによれば7月中旬に契約しても工事は、11月だそうなので、年明けの工事だとしても本誌を読まれている今が、最後のタイムリミットかもしれません。

仮に申請した業者の6割まで工事の実施が増えたとしても、逆に言えば、撤退は4786の4割。すなわち1900カ所のSSと、今年度同様、申請すらしない業者や通常の廃業数を約千と考えれば、最大約3000SSが撤退する可能性があるのです。本件については重要な問題なので、今後も注視して行きます。

ガソリン数量削減

そしてカーシェアリング等を指しています。私は更に道路渋滞を最小限に抑えるインテリジェントネットワーク信号制御システムが順次導入されてくると思います。自動車側の燃費改善はかなり進んでいるので、あとは信号システム等のインテリジェント化で、渋滞の解消や平均速度の向上を図る方が、はるかに燃費改善につながるそうです。

元売の反応は

ところでこの6割減に対する元売の反応はどうでしょう。マスコミへの発表や特約店への説明は、10年後もエネルギーにおける石油の依存度はまだ高い、ガソリンもそこまで減らないので大丈夫。という従来型の説明を繰り返しています。

嘘ではありませんが、傘下の系列特約店や販売店には、ガソリンが半減してもやっていけるようなSS経営のビジネスモデルを示すべきでしょう。現在、価格激戦区では、仕切

石連週報VSENE速報 2011年度のガソリン販売は、別冊の通り5721万ℓ前年比98.4%ですが、震災の影響はどの程度なのか、正味の需要減は何%か、正確な数字は毎月の実績を昨年と一昨年と対比する必要があります。

ところで誠にはずかしい話ながら、弊社直営でもガソリン数量減に襲われています。

当社だけが高値販売(系列仕切りと同等価格で売っている超安値店が異常だと思っていますが)の影響で減販しているのか。それとも需要全体が落ちているのか。減販理由が後者なら価格政策は維持して良い訳です。その需要動向を最も早く教え

り体系においてガソリン損益分岐点口銭指数の7円の確保は非常に難しくなっています。

また洗車等の油外収入もガソリン同様落ち始めているなか、元売販売SSが我々と同様の仕切り価格と販売数量等で経営が成り立つことを証明してほしいと思います。

昨今JXのテレビCMは、メーカーとしても販売側も収益の確保が難しいエネゴリ君で、ガソリンスタンドの具体的な成功モデルをイメージ出来る広告を見ないと思うのは私だけでしょうか。

一方「心も満タンに」という好感度の高いCMを流している元売も、製油所の度重なるトラブルや4~6月の非常に厳しい決算を見ても業界人として心配に思う次第です。

1カ所あたりの販売量

ガソリン数量の減少とSS数の減少の多少によって出てくるのが、全国平均の1SSあたりの販売数量です。よくガソリン需要の減少率よ

りはSS数の減少率の方が大きいので、生き残っていれば、販売数量は多くなるとの説明を聞きます。しかし、これは全国平均の話で、ほんの一部の激安販売のSSが、廃業SSの販売していた数量を、結果的には全てもって行くのでしょうか。

そのような安値戦略は一般の系列特約店販売店には絶対に取れないので、1SS当たりの販売量が自然に増えることを期待するのは危険だと思います。

同様にセルフV5フルサービスも、一般に平均93%といえば、元売販社の大型セルフは100%95%。一般特約店販売店のフルなら90%が相場でしょう。

続消費地精製主義

さて今月号の後半は、反響が非常に大きかった6月号消費地精製主義の続報です。

思考シミュレーションを突き詰めていくとして、韓国とは同じエネルギー輸入国としてガチンコ勝負で日本の精製元売に勝って頂かなくてはなりません。中東産油国がその豊富なオ

イルマナーにものを言わせて、製油所を建設し始めた日本は精製業はどうなるのか。

昨今大幅に精製能力を増強しているらしい中国。その製品は国内需要に振り分けられているのか。その他の東南アジアの国々で製油所を大幅増強しているところはないのか。それを確かめる良いデータはないのか、とずっと探しておりまし

た。そんな折、ほぼ同時期に2人の方より頂戴したのが以下のBP資料です。その使用も出所をBPとすれば問題ないでしょうか、とのことなので、紹介します。

世界の精製能力と推移

まず中東とアジア地域の精製能力表(表1)をご覧ください。単に2011年だけでなく、過去の推移や直近の傾向をみてほしいので、1980年から掲載し直近の2011年との対比もつけてみました。

中東地域で80年対比最も増えているのはUAEで40倍です。これは80年の数字が小さ過ぎる

のですが、85年と比較すれば、3.7倍となっています。その他イラクとサウジが300%台です。

一方2009年対比では、競争後の復興期にあたるイラクの123%を除けば、皆100%と増加傾向にはないようです。

アジア能力は増加

気になるアジア諸国は80年対比では大幅に伸びています。タイの8倍。インドの7倍。中国の6倍。韓国の4.6倍と続いています。日本の76%。すなわち80年の時より24%も落として

なるという変な話はよく聞きますが、メジャーの製油所投資は今までは後ろ向きようです。欧州においては、ドイツやフランスが輸入国、ロシアやイタリヤが輸出国というメリハリのある状況となっています。

中東において驚くのはなんとサウジが製産品輸入国であるという事です。

アジア諸国のギャップ

オーストラリアを除けば、製産品輸入国はインドネシアのみ。精製能力を急激に伸ばした中国やインドは、昨今の景気低迷で

また韓国、台湾、タイやシンガポールまで輸出余力をもって給バランスとしては、かなり弱含みのようです。

ちなみに日本の製産品ギャップをみれば何とマイナス。最初は間違いかと思ったのですが、震災による3製油所の停止をちらんと織り込んだ内容だと考えれば、逆にBP統計の正確さの表

れと感心した次第です。

さて消費地精製主義問題の今回の結論は、中東や中国の製油所が、日本のサルファーフリー等の細かい規格や、先方からみれば日本の小ロットのニーズに、いちいち対応してくることも思えないので、当面の日本の精製元売のライバルはやはり韓国ということになるでしょう。

一方、中長期的には、やはり中東。そしてTPP議論で石油製品も例外でなくなれば、米国のからの製産品輸出も絶対ないとは言い切れず、東燃を手放した米EMの長期戦略も含め、今後もこの問題から目が離せません。

製産品ギャップも確認

さてその精製能力以上に大切なのは、その国の消費とのバランス、すなわち輸出余力がどのくらいあるかです。こちらは全世界のデータで見えます。

まず驚くのは、アメリカが製産品輸入国だということです。老朽化による故障や台風被害等で製産品不足になり、それで製産品卸市況が上がり、結果収益増と

各国の需給ギャップ

(表2)

| | 2011年 | 自国 | 精製 |
|----------|--------|--------|--------|
| 単位千BD | 精製能力 | 消費量 | ギャップ |
| アメリカ | 17,730 | 18,835 | -5.9% |
| カナダ | 2,046 | 2,293 | -10.8% |
| メキシコ | 1,606 | 2,027 | -20.8% |
| 北アメリカ計 | 21,382 | 23,156 | -7.7% |
| 南アメリカ計 | 6,590 | 6,241 | 5.6% |
| ベルギー | 823 | 677 | 21.6% |
| フランス | 1,610 | 1,724 | -6.6% |
| ドイツ | 2,077 | 2,362 | -12.1% |
| ギリシャ | 498 | 343 | 45.2% |
| イタリア | 2,331 | 1,486 | 56.9% |
| オランダ | 1,276 | 1,052 | 21.3% |
| ノルウェー | 310 | 253 | 0.225 |
| ロシア | 5,663 | 2,961 | 91.3% |
| スペイン | 1,467 | 1,392 | 5.4% |
| スウェーデン | 434 | 305 | 0.423 |
| トルコ | 613 | 694 | -0.117 |
| 英国 | 1,757 | 1,542 | 13.9% |
| その他欧州 | 5,710 | 4,133 | 38.1% |
| 欧州小計 | 24,570 | 18,924 | 29.8% |
| イラン | 1,860 | 1,824 | 2.0% |
| イラク | 924 | 478 | 93.3% |
| クウェート | 931 | 438 | 112.6% |
| サウジアラビア | 2,110 | 2,856 | -26.1% |
| UAE | 673 | 671 | 0.3% |
| その他中東諸国 | 1,513 | 1,809 | -16.4% |
| 中東諸国計 | 8,011 | 8,076 | -0.8% |
| アフリカ小計 | 3,317 | 3,336 | -0.6% |
| オーストラリア | 742 | 1,003 | -26.0% |
| 中国 | 10,834 | 9,758 | 11.0% |
| インド | 3,804 | 3,473 | 9.5% |
| インドネシア | 1,141 | 1,430 | -20.2% |
| 日本 | 4,274 | 4,418 | -3.3% |
| シンガポール | 1,395 | 1,192 | 17.0% |
| 韓国 | 2,783 | 2,397 | 16.1% |
| 台湾 | 1,197 | 951 | 25.9% |
| タイ | 1,298 | 1,080 | 20.1% |
| その他アジア諸国 | 1,667 | 353 | 372.5% |
| アジア諸国計 | 29,135 | 28,301 | 2.9% |
| 全世界合計 | 93,004 | 88,034 | 5.6% |

BP出所データを筆者加工

(表1)

各国の精製能力の推移 (1985~2011年)

| 国名と地域 | 1980 | 1985 | 1990 | 1995 | 2000 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 80年比 | 09年比 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| イラン | 1,085 | 685 | 865 | 1,290 | 1,597 | 1,727 | 1,727 | 1,772 | 1,805 | 1,860 | 1,860 | 1,860 | 171% | 100% |
| イラク | 297 | 520 | 600 | 660 | 740 | 748 | 748 | 755 | 744 | 754 | 846 | 924 | 311% | 123% |
| クウェート | 579 | 644 | 570 | 824 | 740 | 931 | 931 | 931 | 931 | 931 | 931 | 931 | 161% | 100% |
| サウジアラビア | 700 | 1,420 | 1,885 | 1,692 | 1,806 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,100 | 2,110 | 301% | 100% |
| アラブ首長国連邦 | 15 | 180 | 185 | 220 | 440 | 620 | 620 | 625 | 673 | 673 | 673 | 673 | 4487% | 100% |
| その他中東諸国 | 852 | 1,116 | 1,155 | 1,150 | 1,168 | 1,283 | 1,283 | 1,341 | 1,350 | 1,501 | 1,513 | 1,513 | 178% | 101% |
| 中東諸国小計 | 3,528 | 4,565 | 5,260 | 5,836 | 6,491 | 7,409 | 7,409 | 7,524 | 7,603 | 7,819 | 7,923 | 8,011 | 227% | 102% |
| オーストラリア | 723 | 670 | 662 | 730 | 828 | 711 | 694 | 733 | 734 | 734 | 740 | 742 | 103% | 101% |
| 中国 | 1,805 | 2,149 | 2,892 | 4,014 | 5,407 | 7,865 | 7,865 | 8,399 | 8,722 | 9,479 | 10,302 | 10,834 | 600% | 114% |
| インド | 557 | 867 | 1,122 | 1,133 | 2,219 | 2,872 | 2,872 | 2,983 | 2,992 | 3,574 | 3,703 | 3,804 | 683% | 106% |
| インドネシア | 449 | 867 | 866 | 991 | 1,127 | 1,127 | 1,127 | 1,150 | 1,052 | 1,085 | 1,139 | 1,141 | 254% | 105% |
| 日本 | 5,643 | 4,724 | 4,324 | 5,006 | 5,010 | 4,588 | 4,588 | 4,650 | 4,650 | 4,630 | 4,291 | 4,274 | 76% | 92% |
| シンガポール | 1,069 | 968 | 1,060 | 1,273 | 1,255 | 1,255 | 1,255 | 1,255 | 1,385 | 1,385 | 1,385 | 1,395 | 130% | 101% |
| 韓国 | 608 | 751 | 798 | 1,727 | 2,598 | 2,633 | 2,633 | 2,671 | 2,712 | 2,712 | 2,712 | 2,783 | 458% | 103% |
| 台湾 | 542 | 570 | 570 | 732 | 732 | 1,140 | 1,140 | 1,197 | 1,197 | 1,197 | 1,197 | 1,197 | 221% | 100% |
| タイ | 163 | 181 | 222 | 477 | 899 | 1,125 | 1,125 | 1,125 | 1,220 | 1,285 | 1,298 | 1,298 | 796% | 101% |
| その他アジア諸国 | 805 | 887 | 954 | 1,168 | 1,403 | 1,435 | 1,435 | 1,443 | 1,459 | 1,605 | 1,638 | 1,667 | 207% | 104% |
| アジア諸国小計 | 11,641 | 12,634 | 13,470 | 17,251 | 21,478 | 24,734 | 24,734 | 25,606 | 26,123 | 27,685 | 28,405 | 29,135 | 250% | 105% |

BP出所データを筆者加工